

# 2018年度 第1回東大入試実戦模試志望動向<前期>

2018/9/11

- 志望者数は、全体では指数100で前年度並。文理別でも、文科類、理科類ともに指数100で前年度並。
- 文科一類は、指数94の減少で、前年度模試でのやや増加の反動もあって、文科類では唯一減少した科類となった。平均偏差値はほぼ前年度並だが、競争緩和によりやや易化傾向。
- 文科二類は、指数104のやや増加。さらに、平均偏差値も0.5ポイントアップと成績レベルがアップしており、やや難化傾向。
- 文科三類は、指数103のやや増加、前年度模試での減少の反動が見られる。しかし、平均偏差値は0.5ポイントダウンと成績レベルがダウンしていることから、難化傾向はなく前年度並の入試。
- 理科一類は指数102でほぼ前年度並で、平均偏差値も前年度との変化は小さく、前年度並の入試。
- 理科二類は、指数97のやや減少で、前年度模試の減少に引き続き減少している。平均偏差値はほぼ前年度並だが、競争緩和によりやや易化傾向。
- 理科三類は、指数96とやや減少で、前年度模試のやや減少に続いて減少している。平均偏差値も0.6ポイントダウンしており、少数激戦の厳しい入試が継続しているものの、やや易化傾向。

## 2018年度 第1回東大入試実戦模試 志望状況 2018/9/11

大学	科類	志望者指数		平均偏差値差	
		2018年度 / 2017年度	2017年度 / 2016年度	2018年度 - 2017年度	2017年度 - 2016年度
東大	文一	94	105	+0.1	-0.1
	文二	104	98	+0.5	-0.7
	文三	103	94	-0.5	+0.6
	理一	102	98	+0.1	±0.0
	理二	97	92	+0.1	-0.4
	理三	96	96	-0.6	+0.5
	文科類	100	99		
	理科類	100	97		
	合計	100	97		

